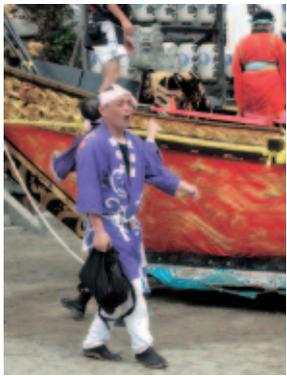




老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」を取材して、その人の言葉で四日市の魅力などを読者に伝えるコーナーです。  
 CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。  
 放送日時：2月11日～3月10日 9:00・19:30

### ○唄を多くの人に届けたい

鯨船の唄には、港を出た船が鯨のいる場所まで向かう間や帰港中の「櫓こぎ」の世間話を表現した「流し唄」と、鯨を発見して追いつめ、仕留めた後に大漁を祝うまでの「役唄」があります。



演技の休憩の間に「流し唄」をうたう武内さん

実際に漁に出ていた昔に思いをはせ、当時の様子を再現できればと考えながら唄をうたっています。また、より多くの人に届くよう、人一倍大きな声でうたうよう心がけています。

富田の鯨船は4艘それぞれうたい方も少しずつ違います。その違いにも興味を持って聞いて欲しいですね。

### ○女性初の太鼓叩き

弟が「はだし(※)」として鯨船に乗るのを見て、自分も乗ってみたいと思い、太鼓を叩く役に立候補しました。女性が太鼓を叩くのは初めてのことだったそうです。ばちを振るうのは大変で、手にまめができて、血がにじむ



昨年の夏祭りではちを振るう山本さん

こともあります。船の上で太鼓を叩くことは楽しいと感じています。これからもこの役を続けていきたいと考えています。

※船の上で踊る役のこと



### 山本彩映さん・武内 崇さん

富田地区の代名詞の一つ「鯨船」。地区には4艘の鯨船があり、それぞれ大切に受け継がれています。今回は、そのうちの1艘「神社丸」に携わる若手のお二人にお話を聞きました。

### ○地区の宝を守り、つなぐ

富田小学校では3年生で鯨船について習います。このように郷土の祭り、伝統を守っていくことは、地区の結束を強くすることにもつながります。

これからも鯨船を大切に守り、さらに次の世代にも引き継いでいきたいと思っています。



富田小学校での総合的な学習の時間の発表

### 「鳥出神社の鯨船行事」をユネスコ無形文化遺産に

毎年8月に「とみだの夏祭り」の中で催される勇ましい神事。平成26年3月に文化庁がユネスコへ、無形文化遺産への登録申請をしました。(審査は平成28年の予定)



昨年の様子。神社丸のほか、神徳丸、感應丸、権現丸の4艘すべてが鳥出神社にそろいました

有料広告掲載欄

### リハビリテーションスタジオあすか(通所介護)

訪問看護リハビリステーションあすか 居宅介護支援事業所あすか



リハビリと介護予防(転倒予防)の為に通所介護を希望される方、ご自宅での訪問看護を希望される方はご相談ください。

四日市市赤堀南町6-7 059-340-6700 <http://hokusei-you.net/asuka/> 合同会社 HABILIS

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。